

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

(薬品名)	リンゼス錠 0.25mg	市販直後調査 平成 29 年 3 月～平成 29 年 9 月
(英名)	Linzess Tablets 0.25mg	
(規格・含有量)	1 錠中、リナクロチド 0.25mg	
(一般名)	リナクロチド	
(メーカー名)	アステラス製薬	
【薬価収載日】	2017 年 2 月	
【薬価】	92.40 円	
【薬効コード】	872399	
【薬効分類名】	グアニル酸シンクラーゼ C 受容体アゴニスト	
効能・効果	便秘型過敏性腸症候群	
用法・用量	通常、成人にはリナクロチドとして0.5mg を1日1回、食前に経口投与する。 なお、症状により0.25mg に減量する。	
禁忌	1.機械的消化管閉塞又はその疑いがある患者 2.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	記載なし	
副作用	重大な副作用 重度の下痢 その他 下痢	

(薬品名)	リアルダ錠 1200mg	
(英名)	LIALDA Tab. 1200mg	
(規格・含有量)	1 錠中、メサラジン 1200mg	
(一般名)	メサラジン	
(メーカー名)	持田製薬株式会社	
【薬価収載日】	2016 年 11 月	
【薬価】	212.0 円	
【薬効コード】	872399	
【薬効分類名】	潰瘍性大腸炎治療剤	
効能・効果	潰瘍性大腸炎(重症を除く)	
用法・用量	通常、成人にはメサラジンとして1日1回2,400mgを食後経口投与する。活動期は、通常、成人にはメサラジンとして1日1回4,800mgを食後経口投与するが、患者の状態により適宜減量する。	
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.サリチル酸塩類に対し過敏症の既往歴のある患者[交叉アレルギーを発現するおそれがある。] 3.重篤な腎障害のある患者[腎障害がさらに悪化するおそれがある。] 4.重篤な肝障害のある患者[肝障害がさらに悪化するおそれがある。]	

相互作用	他剤作用増強 アザチオプリン、メルカプトプリン
副作用	重大な副作用 再生不良性貧血、汎血球減少症、無顆粒球症、白血球減少症、好中球減少症、血小板減少症 心膜炎、心筋炎、胸膜炎、間質性肺疾患、膵炎、間質性腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、肝機能障害、肝炎、 黄疸 その他 5%以上の記載なし

削除医薬品通知

●4月30日まで

クレスチン細粒	4/30 削除
ペルジピン錠 20mg	4/30 削除

後発医薬品採用通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
●5月1日より ピカルタミド OD 錠 80mg「NK」	カソデックス OD 錠 80mg

適応追加通知

オゼックス細粒小児用15%

【効能・効果】

〈適応菌種〉

トスフロキサシンに感性の肺炎球菌(ペニシリン耐性肺炎球菌を含む)、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、炭疽菌、コレラ菌、インフルエンザ菌、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ)

〈適応症〉

肺炎、コレラ、中耳炎、炭疽

【用法・用量】

通常、小児に対してはトスフロキサシントシル酸塩水和物として1回6mg/kg(トスフロキサシンとして4.1mg/kg)を1日2回経口投与する。

ただし、1回180mg、1日360mg(トスフロキサシンとして1回122.4mg、1日244.8mg)を超えないこととする。

タミフルドライシロップ 3%

【効能・効果】

(略)

【用法・用量】

(1) 成人

通常、オセルタミビルとして1回75mgを1日2回、5日間、用時懸濁して経口投与する。

(2) 小児

通常、オセルタミビルとして以下の1回用量を1日2回、5日間、用時懸濁して経口投与する。ただし、1回最高用量はオセルタミビルとして75mgとする。

幼小児の場合: 2mg/kg(ドライシロップ剤として66.7mg/kg)

新生児、乳児の場合: 3mg/kg(ドライシロップ剤として100mg/kg)

2. 予防に用いる場合

(1) 成人

	<p>通常、オセルタミビルとして1回75mgを1日1回、7～10日間、用時懸濁して経口投与する。</p> <p>(2) 小児</p> <p>通常、オセルタミビルとして以下の1回用量を1日1回、10日間、用時懸濁して経口投与する。ただし、1回最高用量はオセルタミビルとして75mgとする。</p> <p>幼小児の場合：2mg/kg(ドライシロップ剤として66.7mg/kg)</p>
ソバルディ錠 400mg	<p>【効能・効果】</p> <p>次のいずれかのC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善</p> <p>1. セログループ2(ジェノタイプ2)の患者</p> <p>2. セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のいずれにも該当しない患者</p> <p>【用法・用量】</p> <p>1. セログループ2(ジェノタイプ2)の場合：リバビリンとの併用において、通常、成人にはソホスビルとして400mgを1日1回、12週間経口投与する。</p> <p>2. セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のいずれにも該当しない場合：リバビリンとの併用において、通常、成人にはソホスビルとして400mgを1日1回、24週間経口投与する。</p>
マキユエイド硝子体内注用 40mg	<p>【効能・効果】</p> <p>○[硝子体内投与] (略)</p> <p>○[テノン嚢下投与]</p> <p>下記の疾患に伴う黄斑浮腫の軽減</p> <p>・糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症、非感染性ぶどう膜炎</p> <p>【用法・用量】</p> <p>○[硝子体内投与] (略)</p> <p>○[テノン嚢下投与]</p> <p>通常、本剤1バイアルに1mLの生理食塩液又は眼灌流液を注入してトリアムシノロンアセトニド濃度が40mg/mLになるように用時懸濁し、トリアムシノロンアセトニドとして20mg(懸濁液として0.5mL)をテノン嚢下に投与する。</p>
レベトールカプセル 200mg	<p>【効能・効果】</p> <p>1. インターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)、ペグインターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)又はインターフェロンベータとの併用による次のいずれかのC型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善</p> <p>(1) 血中HCV RNA量が高値の患者</p> <p>(2) インターフェロン製剤単独療法で無効の患者又はインターフェロン製剤単独療法後再燃した患者</p> <p>2. ペグインターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)との併用によるC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善</p> <p>3. ソホスビルとの併用による次のいずれかのC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善</p> <p>(1) セログループ2(ジェノタイプ2)の患者</p> <p>(2) セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のいずれにも該当しない患者</p> <p>4. オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤との併用によるセログループ2(ジェノタイプ2)のC型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善</p> <p>【用法・用量】</p> <p>追記なし</p>

